

「愛川ふるさとまつり」で募集広報



販わうブース

会場では、日頃は見ることのない自衛隊の車両を見て、「カッコいい」などの声が聞かれ、広報官に対して「将来は自衛隊に入ります」と話す頼もしい姿も見られた。また、災害派遣の写真を見た来場者からは、「頑張ってるよ」「応援してるよ」などの声をいただき、広報官は身が引き締まる思いだった。



愛川町長の激励



人気の『たま』

自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 明神忠雄 3等海佐）は、10月20日（日）、愛甲郡愛川町で開催された「第38回愛川ふるさとまつり」に参加し、広報活動を実施した。

当日、会場では各種ステージイベントや展示が行われたほか、地元生産品の販売など様々なブースが展示され、郷土愛あふれる来場者でにぎわった。厚木募集案内所も自衛隊ブースを出展し、陸上自衛隊第4施設群の支援を受け「1/2トラック」の車両展示のほか、「ちびっ子迷彩服試着体験」、「災害派遣写真パネル展示」等を行った。ブースでは、子供たちが「何色にしようかな」と悩みながらお気に入りの迷彩服を試着すると、保護者たちは「似合う、かわいい」と声を上げて写真撮影をしていた。そして神奈川地本のキャラクターの「たま」が現れると、たくさんの方が「かわいい」「一緒に写真撮って」などと歓声を上げて集まり、自衛隊ブースはさらに盛り上がりを見せた。

会場では、日頃は見ることのない自衛隊の車両を見て、「カッコいい」などの声が聞かれ、広報官に対して「将来は自衛隊に入ります」と話す頼もしい姿も見られた。また、災害派遣の写真を見た来場者からは、「頑張ってるよ」「応援してるよ」などの声をいただき、広報官は身が引き締まる思いだった。

日本大学「藤桜祭会」で自衛隊ブース出展



自衛隊神奈川地方協力本部藤沢募集案内所（所長 呉屋幸生1等陸尉）は、10月26日（土）、27日（日）、陸上自衛隊座間駐屯地に所在する第4施設群、藤沢地区の自衛官募集相談員及び日本大学卒業生である湘南地区家族会会長の支援を受け、日本大学生物資源学部で開催された学部祭「藤桜祭」に参加し、自衛隊ブースを出展しました。

当日は天候に恵まれたこともあり、多くの子供やご家族が来場し、模擬店や各種イベントを楽しんでいました。

自衛隊ブースにおいては、南極の氷や石の展示、災害復旧支援活動の写真パネル展示、「背のう」の背負い体験、1/2トラックや偵察バイクの車両展示や車両に乗車して写真撮影などを実施しました。

特に南極の氷や石の展示は来場者の関心を集め、氷の中に閉じ込められた数万年前の空気の気泡が氷の溶ける際に音を立てているとの広報官の説明に、来場者は驚きの表情を浮かべ、プチプチという音に耳を傾けていました。また、南極の石を手に取り、「ずっとしりして思っていたより重い」との感想が聞かれました。

神奈川地本キャラクター「はまちゃん」が登場すると、学生や来場した子供たちが集まり、「はまちゃん」と写真撮影やハグをするなど学部祭を大いに盛り上げました。

藤沢募集案内所は、「今後も各種イベントに積極的に参加し、自衛隊がより身近な存在となれるよう、募集広報に励んでいきます」としています。

自衛隊神奈川地方協力本部藤沢募集案内所（所長 呉屋幸生1等陸尉）は、10月26日（土）、27日（日）、陸上自衛隊座間駐屯地に所在する第4施設群、藤沢地区の自衛官募集相談員及び日本大学卒業生である湘南地区家族会会長の支援を受け、日本大学生物資源学部で開催された学部祭「藤桜祭」に参加し、自衛隊ブースを出展しました。

当日は天候に恵まれたこともあり、多くの子供やご家族が来場し、模擬店や各種イベントを楽しんでいました。

自衛隊ブースにおいては、南極の氷や石の展示、災害復旧支援活動の写真パネル展示、「背のう」の背負い体験、1/2トラックや偵察バイクの車両展示や車両に乗車して写真撮影などを実施しました。

特に南極の氷や石の展示は来場者の関心を集め、氷の中に閉じ込められた数万年前の空気の気泡が氷の溶ける際に音を立てているとの広報官の説明に、来場者は驚きの表情を浮かべ、プチプチという音に耳を傾けていました。また、南極の石を手に取り、「ずっとしりして思っていたより重い」との感想が聞かれました。

神奈川地本キャラクター「はまちゃん」が登場すると、学生や来場した子供たちが集まり、「はまちゃん」と写真撮影やハグをするなど学部祭を大いに盛り上げました。

藤沢募集案内所は、「今後も各種イベントに積極的に参加し、自衛隊がより身近な存在となれるよう、募集広報に励んでいきます」としています。